講義名	経済特別演習Ⅱ(3年生のみ)			授業形態	
担当教員	中島　孝子／羽森　直子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ２時限		
		単位数	2	履修開始年次	３年生	ナンバリング・コード	ESM351

主題と概要

この授業は、ファイナンシャルプランナー3級やニュース時事能力検定などの試験内容の学習や問題演習を通じて、経済を中心とした現代社会について理解を深め、応用力を身に付けることを目的とする。授業は、資格取得や大学院進学を目指す学生の履修を想定し、少人数での演習形式で行う。高いモチベーションを維持しながら試験対策を継続できるように、資格取得や大学院進学を目指す人たちをサポートしていく。

経済特別演習Ⅱでは、Ⅰに引き続き、問題演習等を行う。前期開講の「経済特別演習Ⅰ」が履修済みであることを前提として授業を進めるため注意されたい。

到達目標

制度を含む基本的な現代経済社会の知識を持ち、それを資格取得など次の学習ステップにつなげられるようになる。

提出課題

授業内で問題演習を行う。
また、口頭発表やレポート課題がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内に、全体または個別に解答・解説を行う。

評価の基準

平常時：受講態度（積極性など）と課題　50%
期末試験（筆記）または期末課題レポート　50%　※第1回の授業時に詳細を説明します。

履修にあたっての注意・助言他

本演習はあくまで、資格取得や、大学院進学、企業の調査・研究部門への就職などを目指す、高い意識を持つ人達の、モチベーション維持とサポートを目的としています。本演習で扱う内容は、特定の資格や進路に限定していないため、資格取得や大学院進学の際、本演習内容だけでは勉強量が足りていないと考えてください。資格取得や進路先用の勉強は、各自で授業時間外にも行う必要があります。

少人数科目のため、定員制限があります。希望者が多い場合、書類または面接にて選考します。

前期開講の経済特別演習Ⅰを履修していなくても履修可ですが、経済特別演習Ⅰが履修済みであることを前提に授業を進めますので、ご注意下さい。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.なし.				

その他

資料や演習問題を授業時に配布します。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	○	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考	

授業計画

1.イントロダクション
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（240分）

2.リスク管理　保険の基本
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

3.リスク管理　生命保険のしくみ
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める（150分）

4.リスク管理　生命保険の種類と契約
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

5.リスク管理　生命保険と税金
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

6.リスク管理　損害保険
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

7.リスク管理　第三分野の保険
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

8.金融資産運用　金融・経済の基本
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

9.金融資産運用　セーフティネットと関連法規
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

10.金融資産運用　貯蓄型金融商品
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

11.金融資産運用　債券
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

12.金融資産運用　株式
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

13.金融資産運用　投資信託
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

14.金融資産運用　金融商品と税金
予習内容：　シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。（90分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）

15.　まとめ
予習内容：　これまでの授業内容を振り返る。（120分）
復習内容：　講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（120分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経済を中心とした現代社会の知識を定着させることで、社会的にみて望ましい、個人の行動、企業の行動、政府の行動をより厳密に考えることが可能となる。これにより、ディプロマポリシーの「人間、社会に関するこれまでの学問成果の基礎を身に着け、現代社会の諸問題について、幅広い視点から考察し課題を提案することができるようになる」に到達できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

クリッカーシステム（キャンパスクロス、レスポン等）をアンケートや課題の提出に利用する。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし